



南建維第92-1号
平成19年5月8日

国土交通省道路局長 殿

南さつま市長 川野 信男



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について (回答)

平素から、鹿児島県南さつま市の市民生活や産業経済の発展に欠かすことのできない幹線道路網の整備の推進にご尽力をいただき深く感謝申し上げます。

標記、平成19年4月2日付け国道企第114号で依頼のあった件につきまして、別添「中期的な計画の作成にあたっての意見について」のとおり回答いたします。

中期的な計画の作成にあたっての意見について

市町名 鹿児島県 南さつま市

| 意見依頼事項 | 意見欄 |
|-------------------------------------|---|
| <p>1. 重点化を進める上で特に優先度の高い政策</p> | <p>1. 道路整備にかかる中央と地方、都市部と過疎地域等それぞれ視点、論点が異なることから、中央道路と地方道路、人口の多い地域の道路、人口の少ない地域の道路、幹線道路と生活道路等、その目的別に道路整備を行なう必要があります。</p> <p>2. 中期的道路政策の観点から、広域化する行政区域における地域を一体化する道路網の整備支援と生活関連道、特に緊急車両等が通行可能な防災面での道路整備への支援。</p> <p>3. 計画的及び戦略的な道路政策を重点的・効率的に実施するためには、道路・橋梁等を総合的に管理するシステムの開発導入に関する支援等の、既存の道路ストックの総合的管理手法の導入支援が必須と考えられ、総合的管理手法の導入により、中期的に達成すべきサービス水準とそのためが必要となる優先事項を明確化することが可能となります。</p> |
| <p>2. 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと</p> | <p>1. 効率的な道路整備が求められる中で、全国画一的な道路構造令の基準をそのまま適用するのではなく、道路構造令の規定を弾力的に運用し、1.5車線の道路整備等、その地域の実情に応じた、地域の特性を生かした整備が必要であります。</p> <p>2. 既存道路ストックの高齢化に対処するための健全度把握への支援と、予防保全等の合理的管理手法導入への支援。</p> |
| <p>3. その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見</p> | <p>1. 景観、自然、歴史、文化など地域資源や個性を活かした多様で質の高い風景の形成を目指す「日本風景街道」本市策定の「南さつまとるば226整備」等の地方の活性化や自立に必要な道路網整備への支援重点化。</p> <p>2. 人やモノの移動のほとんどを自動車交通に依存している本市を含む地方にとって、道路は、地域の日常生活や産業・経済社会活動を支える最も基礎的な社会資本であり、幹線道路網である国・県道から地域住民の生活に最も密着した市町村道に至るまで、道路網の整備は、本市民が長年にわたり熟望してきているところであり、中長期的な視野に立って体系的かつ計画的に豊かで安心して暮らせる地域社会の実現には、道路整備が不可欠であり、重点的・効率的な道路政策に関する中期的な計画作成を要望いたします。</p> |